

対象クラス	第2学年 生活デザイン科	単位数	3
使用教科書	保育基礎(実教出版)		
使用副教材	生活学Navi(実教出版)		

「保育基礎」とはこんな科目です。

- ・保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成することを目標としています。
- ・職業人としての意識を高めることができるよう、子どもの発達過程や生活の特徴を保育に関連付けて体系的に学ぶことにより、子どもの姿全体を捉え、子どもの遊びや表現活動や、子供との触れ合い方法を具体的に学びます。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し知識を身に付けます。
- ・保育に関連する技術を身に付けます。
- ・学んだ知識・技術を保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養います。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	・定期考査 ・学習プリント ・課題作品
思考・判断・表現	3	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	・定期考査 ・表現活動(課題作品・発表態度)
主体的に学習に取り組む態度	3	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	・発展学習への取り組み状況 ・提出状況 ・授業態度

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	オリエンテーション・「保育基礎」のオリエンテーション		・「保育基礎」の学習内容を理解する。
	子どもの保育	・保育の意義	・保育の意義と重要性について知る。
	子どもの発達	・子どもの発達の特徴 【前期中間考査】・乳幼児の世話、読み聞かせ	・子どもの発達時期を知る。特に乳幼児期の発達について理解を深める。
前期期末	子どもの生活	・子どもの生活と養護 ・離乳食 ・健康管理と事故防止 【前期期末考査】	・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種事故の実態や原因などを理解する。
	子ども文化	・子どもの文化の意義と支える場 ・絵本、紙芝居作製	・絵本や遊び、歌などの児童文化財が、子どもの発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。
後期中間		・子どもの遊びと表現活動 【後期中間考査】・児童文化財作製	・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性を理解し、児童文化財作製をします。
学年末	子どもの福祉	・子どもの福祉 ・保育実習 ・子育て支援 【学年末考査】	・子どもの福祉について理解をする。 ・児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。

<p>学 年 末</p>	<p>食生活をつくる</p> <p>【学年末考査】</p>	<p>私たちの食生活を健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の選択と表示・食品の衛生 ・食品群別摂取量への取り組み ・調理実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を振り返り、現代の食生活の現状と問題点、食品の栄養等を理解する。 ・日本の食料自給率、食品の安全などの観点から食生活の現状を理解し、生活の課題がわかる。 ・日本・西洋・中国料理などの基本的な調理方法がわかる。
----------------------	--------------------------------------	--	--